

令和5年度の国際理解教育事業について

1 オンラインを活用した中学生の国際交流について

(1) 目的

オンラインを活用した中学生の国際交流を実施することで、幅広い生徒の多文化共生への理解や語学力向上につなげる。

(2) 対象生徒

箱田中学校2年生（全4学級）と台湾中正國民中學2年生

※大胡中と中正國民中學は姉妹校であり、平成5年～19年まで直接交流していた。令和3年度、4年度は大胡中とオンライン交流を実施

(3) 交流の時期

3学期の3月上旬頃を予定

交流する時間は、休憩を含めて80分程度を予定

(4) 交流方法・交流内容

① オンライン会議システム Google Meet を使用

② 交流言語 英語

③ 実施体制

各クラスを6つの班に分けて班同士で交流。

一つの班の人数は4～5人

④ 交流方法

ア 事前

- ・学校行事の紹介スライド作成（1年 3月）
- ・自己紹介の手紙の準備（夏休みの宿題で下書き、2学期に清書、9月に送付）
- ・定期的にE-mailなどでやり取りする。（10月から月1回程度）
- ・自分の町の情報を伝えるスライド作り（1月）
- ・観光案内パンフレットの作成（2月）

イ 当日

- ・お互いの学校紹介
 - ・わが町の観光プランの紹介
 - ・お互いの国や住んでいる町のおすすめスポットや名物などを紹介したり質問したりする。
- ※交流をスムーズに行うためにも、可能な限りALTの援助をいただく。

(5) 相手校との連絡調整

学務管理課及び箱田中学校が分担して連絡や日程の調整を行う予定

2 JICA 出前講座を活用した中学生の国際理解教育について

(1) 目的

- ・幅広い生徒の異文化理解や多文化共生への態度や能力を養う。
- ・開発途上国の現状を知り、自分の考えや意見を持ち、国際理解を身近なものとしてとらえる態度や能力を養う。

(2) 対象生徒、時期等

No.	学校名	対象者	予定日	講座のテーマ
1	富士見中	全学年約 600 人	11 月 1 日 (水)	今後調整
2	東中	3 学年 157 人	2 月 27 日 (火)	海外ボランティアの体験談
3	明桜中	1 学年 88 人	3 学期中	開発途上国の現状と私たちにできること

(3) 講師

JICA と調整し、決定予定

3 絵画を活用した中学生の国際交流について

(1) 目的

これまで中学生海外派遣・受入事業やオンライン交流を実施してきた台湾の中正國民中學との新たな交流として、絵画の交流を行うもの。

(2) 対象生徒

大胡中学校の生徒

(3) 交流の時期

9 月～12 月

(4) 交流方法・交流内容

- ① 中正國民中學の生徒が描いた絵を 20～30 点ほど本市に郵送
- ② 大胡中学校の生徒が描いた絵を 20～30 点ほど中正國民中學に郵送
- ③ 双方の学校の校舎等で絵画を展示（1 か月程度）
- ④ 本市のホームページで絵画の一部を紹介

(5) 相手校との連絡調整

学務管理課が相手校との連絡調整や絵画の郵送などを行う予定